

7番	小澤 勝 議員	
質問タイトル (大項目)	質問項目 (中項目)	具体的質問内容 (小項目)
<p>1 瀬戸市東部地域の将来展望について</p> <p>【質問趣旨】 現状、瀬戸市に限らず全国的に人口減少・少子高齢化に対する取り組みが急務と言われております。本市の地域社会を構成する中から市東部地域に関して伺います。 東部地域に於いて地場産業である赤津焼はもとより瀬戸赤津インターや豊かな自然環境の元、馬ヶ城に給水する水源地や児童公園であるねむの森、また近年では樺の森の樺祭りなどに多くの方が訪れてみえます。また、国指定を受けた瓶子窯跡など多くの歴史、文化を築いてきた足跡が有り。また、現代は健康志向</p>	<p>(1) 東部地域の基盤整備について</p>	<p>① 現在、地域内の幹線道路として、瀬戸市設楽線バイパス（瀬戸環状東部線）、（県道設楽線）の新設、改修工事の進捗状況について伺います。</p> <p>② 瀬戸環状東部線と東西に並行する県道設楽線に連結する主要地方道瀬戸環状（赤津品野線）の道路改良が瀬戸環状東部線残り800m区間の供用に欠かさない案件と承知をしていますが、現状の進捗と今後の計画を伺います。</p> <p>③ 地元の皆さんは、八王子町地内までの残り800mの早期開通も望むところですが、品野方面に向け直線で約1キロの北進を熱望するものです。これは通り抜け車両の地域内流入を避け、品野六丁目交差点で国道と接道することにより、暫定ですが本来の環状道機能と成るわけです。主体は県事業ですが、一昨年に暫定測量、昨年は地形測量と毎年事業は進行して居りますが、今後の計画予定を伺います。</p> <p>④ 馬ヶ城浄水場は緩速ろ過方式で自然沈下により浄水の配水と聞いておりますが、その水源に当たる赤津川本谷取り入れ口と山路の西谷取り入れ口に繋がる水質保全について具体的な施策は検討されているのか伺います。</p> <p>⑤ 現在、塩草町地域は下水道整備が区画整理区域と塩草町の一部区域が進んで居りますが、その他の東部地域では農水路に生活排水との混在した状況がつづき山口川上流域にある赤津川の浄化は自然浄化に頼る現状です。今後の下水整備の進捗推移をみると、かなりの年数が必要と考えますが整備計画の予定を伺います。</p>

- 備考 1. 必ず、大項目を【1、2、3・・・】、中項目を【(1)、(2)、(3)・・・】、小項目を【①、②、③・・・】として明記し、質問内容、要旨等の具体的かつ明瞭化に努める。
2. 数値の答弁を求める場合は、必ずその旨を記載する。また、過去の経緯、他市の状況等の答弁を求める場合も、同様の扱いとする。
3. MS明朝体、12ポイントで記載する。

7番	小澤 勝 議員	
質問タイトル (大項目)	質問項目 (中項目)	具体的質問内容 (小項目)
<p>の流れの中で東海自然歩道やサイクリングなど、特に土日祝日には来訪者も多く東海自然歩道の無料休憩所のある雲興寺駐車場も早朝より来訪者の車でいっぱいになる状況です。今後の本市の目指すまちづくりを考える上で、地場産業、観光資源、企業誘致、自然環境、地域とふれあう教育環境など本市の東部地域の将来展望と今後の取組む施策について伺います。</p>	<p>(2) 東部地域の観光施策について</p>	<p>① 自然環境の背景や、焼物の歴史と共に歩んできた地域文化など長い歴史の蓄積が今日の日本遺産である六古窯の代表である瀬戸焼に繋がっていると思います。今後の本市の観光産業を考えると、焼物の原点である東部地域と千年以上の歴史ある瀬戸焼をどのように特筆させアピールしていくのか伺います。</p> <p>② 水源地の水質保全や、自然環境を活かした東海自然歩道、ねむの森、また椿の森など子供さんから年配の方まで幅広い世代に楽しんで頂ける環境が有りながら、駐車場やトイレなどの受け皿が出来ていないと考えます。今後の基盤整備の進行と併せ早期にインターから本市に迎え入れる観光化の入口機能の拡充が必要と考えますが見解を伺います。</p> <p>③ 国指定の瓶子窯跡は瀬戸環状東部線に隣接した位置にあり、今後、赤津地内 800 m区間の供用が見込まれる中、観光資源として窯跡の復元など焼物の歴史、文化の発信地点としての魅力もあります。東部地域には小長曾窯跡があり、これら各施設を結ぶ回遊も観光要素に生かされると思いますが、どのように観光資源を活用されるのか伺います。</p> <p>④ 東部地域には赤津川を挟み田畑などの耕作地も有りますが、遊休農地も多数点在して居ります。このような遊休農地の利活用として農業塾などの施策が進められておりますが、より広域な利活用を考える中、特に地域内の幹線道路は歩道が無く農道などの通学路が徒歩での移動手段です。春と秋に行われる窯めぐりなど、多くの来訪者が安心して移動できるよう、観光施策としての里山景観を楽しみ散策するなど、文化、歴史のある地域資源をどのように活用されているのか伺います。</p>

(2 ページ)

- 備考 1. 必ず、大項目を【1、2、3・・・】、中項目を【(1)、(2)、(3)・・・】、小項目を【①、②、③・・・】として明記し、質問内容、要旨等の具体的かつ明瞭化に努める。
2. 数値の答弁を求める場合は、必ずその旨を記載する。また、過去の経緯、他市の状況等の答弁を求める場合も、同様の扱いとする。
3. MS明朝体、12ポイントで記載する。

7番	小澤 勝 議員	
質問タイトル (大項目)	質問項目 (中項目)	具体的質問内容 (小項目)
	<p>(3) 東部地域の生活環境について</p> <p>(4) 東部地域の教育環境について</p>	<p>いくのか見解を伺います。</p> <p>① 地域の活性化には、地場産業、農・畜産物、芸術・文化などの地域資源の掘り起こしや町おこしの人材が必要かと思えます。最近、東部地域に転入された若い世帯に良さをお聞きすると、第一に自然豊かな環境の中で子育てがしたい。次に、隣同士が一定の間隔の有るゆとりの居住スペースが確保出来る。それは土地の価格が若い方でも手の届く範囲で有ることも緩やかな住宅促進に繋がっていると思えます。昨年の4月に暫定用途地域、約35haが解消し用途地域の変更ができたことにより、緩やかな定住促進が進んでいると思えます。そこで、瀬戸東部地域の今後の定住化の動向をどの様に分析されているか伺います。</p> <p>② 今後の公共交通網体系を考える上で、東部地域には路線バス運行されて居りますが十分に利活用がされていないと考える方が多くあります。今後、高齢化に伴い公共交通による足の確保が益々重要に成ります。買い物、通院、通勤、通学やこれからの観光施策も考えるとダイヤの見直し路線ルートの組み換えなど各地区の公共交通検討委員会（沿線協議会）と密に検討を重ねる必要が有ると思えます。例えば、東部地域から愛環鉄道へのアクセスや東海自然歩道の白坂町への公共交通のアクセスなど生活環境や観光環境の利便性向上につながる施策の展開が必要と考えますが、見解を伺います。</p> <p>① これまでも議場に於いて何度も議論されてきた小中一貫校に関し今一度、私なりの観点から伺います。生活環境に於ける人材育成の教育環境について、平成28年6月に5連区小中7校の適正配置として小中一貫校構想が発表され3年</p>

(3 ページ)

- 備考 1. 必ず、大項目を【1、2、3・・・】、中項目を【(1)、(2)、(3)・・・】、小項目を【①、②、③・・・】として明記し、質問内容、要旨等の具体的かつ明瞭化に努める。
2. 数値の答弁を求める場合は、必ずその旨を記載する。また、過去の経緯、他市の状況等の答弁を求める場合も、同様の扱いとする。
3. MS明朝体、12ポイントで記載する。

7番	小澤 勝 議員	
質問タイトル (大項目)	質問項目 (中項目)	具体的質問内容 (小項目)
	(5) 東部地域の今後の展開について	<p>が経過しました来年の令和2年4月に開校予定で「にじの丘学園」の校名も決定しました。残すところ10カ月を切る段階となりましたが、各地区協議会の保護者や地域の方から、また開校準備委員会などから提言されている開校に向けた重要課題について伺います。</p> <p>② 開校に向け、警察、愛知県の関係機関や本市の関係部署との横断的な連携が①の課題や通学路整備や教育カリキュラムなどに対しどの様に図られ進捗しているのか伺います。</p> <p>① 赤津地内八王子町までの瀬戸環状東部線の供用開始をみ定め、沿線の利活用についてどの様な展開が検討されるのか伺います。</p> <p>② 本市の都市計画マスタープランに、せと赤津インター周辺における産業系土地利用の促進として土地誘導ゾーンの記載が謳ってあります。東部地域の魅力としてやきものの町らしさを感じる、由緒ある社寺等が点在する、豊かな自然環境を有する里山景観、古窯窯跡などの史跡、などを繋ぐ歩行者ネットワークの広がりや公共交通による利便性の向上などが観光施策に活かされ地域づくりを促進すると考えますが、見解を伺います。</p> <p>③ 昨年3月に山口の大坪から赤津地内の惣作橋までの供用が開始され東西の交通量が増加している現状です。今後赤津地内の開通が見込まれる中、せと赤津インターチェンジ機能の利活用は接道する幹線道路とのアクセスの利便性向上に</p>

(4 ページ)

- 備考 1. 必ず、大項目を【1、2、3・・・】、中項目を【(1)、(2)、(3)・・・】、小項目を【①、②、③・・・】として明記し、質問内容、要旨等の具体的かつ明瞭化に努める。
2. 数値の答弁を求める場合は、必ずその旨を記載する。また、過去の経緯、他市の状況等の答弁を求める場合も、同様の扱いとする。
3. MS明朝体、12ポイントで記載する。

7番	小澤 勝 議員	
質問タイトル (大項目)	質問項目 (中項目)	具体的質問内容 (小項目)
		<p>より広域な活用が見込まれ、本市の玄関口としての受け皿づくりが急務と考えます。新たなインター周辺整備計画を観光と産業系土地利用や企業誘致と併せ推進することが中心市街地誘導にも繋がると思います。東部地域の将来展望をみつめ具体的な施策に取り組む必要があると考えますが、見解を伺います。</p>

- 備考
1. 必ず、大項目を【1、2、3・・・】、中項目を【(1)、(2)、(3)・・・】、小項目を【①、②、③・・・】として明記し、質問内容、要旨等の具体的かつ明瞭化に努める。
 2. 数値の答弁を求める場合は、必ずその旨を記載する。また、過去の経緯、他市の状況等の答弁を求める場合も、同様の扱いとする。
 3. MS明朝体、12ポイントで記載する。